

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月26日

上場取引所 東大

上場会社名 JSR株式会社
コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉田 淑則
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 櫻井 秀雄
四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

TEL 03-6218-3517

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	294,032	—	34,219	—	34,004	—	18,963	—
20年3月期第3四半期	305,223	11.1	46,542	9.2	45,253	7.5	28,411	10.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	76.22	76.16
20年3月期第3四半期	112.96	112.91

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	406,293	255,910	255,910	255,910	61.6	1,013.94
20年3月期	416,950	257,662	257,662	257,662	60.6	1,009.27

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 250,217百万円 20年3月期 252,538百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
21年3月期	—	16.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	△11.5	35,000	△41.7	35,000	△37.6	19,000	△48.6	76.60

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 255,885,166株 20年3月期 255,885,166株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 9,107,854株 20年3月期 5,666,693株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 248,793,731株 20年3月期第3四半期 251,516,995株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

*定性的情報における前年同期の金額および前年同期比増減率につきましては、参考として記載しております。

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から同年12月31日）の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、第2四半期後半より米国のサブプライムローン問題の深刻化が金融市場の混乱へと一気に拡大し、世界同時株安や円高の進行、そして世界経済の急速な減退など实体经济にも大きく影響し、景気後退が加速するなど深刻な状況となっております。当社グループの主要な関連業界におきましても、自動車、自動車タイヤ、半導体、フラットパネル・ディスプレイの各業界とも、世界的な需要の急減を受けて大規模な生産調整を余儀なくされています。

このような状況のもと、当社グループは収益の維持を目指して採算是正のための価格改定や全グループ企業一体となったコスト削減に努めましたが、急速な需要減による売上高の落ち込みが大きく、損益は悪化しました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,940億32百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は342億19百万円（同26.5%減）、経常利益は340億4百万円（同24.9%減）、四半期純利益は189億63百万円（同33.3%減）となりました。

（部門別の概況）**（エラストマー事業部門）**

合成ゴムにつきましては、スチレン・ブタジエンゴムやポリブタジエンゴムなどの汎用合成ゴムにつきましては、当第3四半期（3ヶ月）の売上高は自動車タイヤ用需要の大幅な減少により前年同期を下回りましたが、9ヶ月累計の売上高は昨年来の原材料価格の上昇に対応した価格改定により前年同期を上回りました。ニトリルゴムやブチルゴム、エチレン・プロピレンゴムなどの機能性特殊ゴムは、樹脂改質分野の事業縮小や第3四半期における自動車生産の大幅な減少の影響を受け、売上高は当第3四半期（3ヶ月）及び9ヶ月累計とも前年同期を下回りました。

ブタジエン系及びスチレン・ブタジエン系などの熱可塑性エラストマーにつきましては、当第3四半期（3ヶ月）の売上高は前年同期を下回りましたが、9ヶ月累計の売上高は前年同期並みとなりました。

収益面では、原材料価格の上昇により収益が大きく圧迫されたため、採算是正のための価格改定に取り組むとともにコスト削減に努めましたが、当第3四半期における需要減が収益を大きく圧迫し、前年同期対比では微増にとどまりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比4.9%増の1,008億97百万円、営業利益は前年同期比1.3%増の86億66百万円となりました。

（エマルジョン事業部門）

主力製品の紙加工用ラテックスにつきましては、当第3四半期（3ヶ月）の売上高は塗工紙メーカーの大幅な需要減の影響を受けて前年同期を下回り、9ヶ月累計の売上高も前年同期並となりました。

収益面では、原材料価格の上昇により収益が大きく圧迫されましたが、上期に取り組みました採算是正のための価格改定が当第3四半期に入って寄与し、第2四半期までの営業損失から黒字化しました。

当第3四半期連結累計期間のエマルジョン事業部門の売上高は前年同期比1.1%減の196億25百万円、営業利益は前年同期比35.9%減の8億9百万円となりました。

(合成樹脂事業部門)

高付加価値分野への拡販や原材料価格の上昇に対応した価格改定、アミューズメント向けの拡販により、第2四半期までの売上高は前年同期を上回っていましたが、第3四半期における国内外での大幅な需要減により、当第3四半期(3ヶ月)の売上高は前年同期を下回り、9ヶ月累計の売上高は前年をやや上回る水準となりました。

収益面では、原材料価格の上昇により収益が大きく圧迫されたため、採算是正のための価格改定に取り組むとともにコスト削減に努めましたが、円高の影響もあり、収益は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比2.7%増の525億26百万円、営業利益は前年同期比15.0%減の21億99百万円となりました。

(多角化事業部門)

半導体製造用材料では、リソグラフィ材料につきましては、ArF(フッ化アルゴン)レジストや多層材料の最先端分野での採用拡大により第2四半期までの売上高は前年同期を上回っていましたが、第3四半期における世界的な需要の大幅な減少により、売上高は当第3四半期(3ヶ月)及び9ヶ月累計とも前年同期を下回りました。

フラットパネル・ディスプレイ用材料では、LCD(液晶ディスプレイ)用材料につきましては、第2四半期までの売上高は前年同期並みで推移しましたが、第3四半期における世界的な需要の減少により、売上高は当第3四半期(3ヶ月)及び9ヶ月累計とも前年同期を下回りました。

収益面では、主要需要業界製品の価格下落による値下げ圧力のなか、差別化製品の拡販やコスト削減により利益拡大に努めましたが、当第3四半期における需要減が収益を大きく圧迫しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比12.4%減の1,209億83百万円、営業利益は前年同期比34.0%減の225億45百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて10,657百万円減少しました。

流動資産では、受取手形及び売掛金が金融機関休日の影響等により2,885百万円増加し、たな卸資産は原材料価格の上昇や製品在庫増加により8,615百万円増加しましたが、有価証券は運転資金の増加や自己株式取得による支出のため25,580百万円減少しました。流動資産合計は5,773百万円の減少となりました。

固定資産では、有形固定資産は減価償却の進捗等により5,550百万円減少しました。投資その他の資産は、投資有価証券は時価評価等により減少しましたが、DOW社への工場建設負担金の支払いによる長期前払費用の増加等により1,079百万円増加しました。固定資産合計は4,884百万円の減少となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて8,905百万円減少しました。

流動負債では、支払手形及び買掛金が金融機関休日の影響等により2,801百万円増加しましたが、未払法人税等、未払金が減少したため、流動負債合計は8,681百万円の減少となりました。

固定負債には大きな増減はなく、固定負債合計で224百万円の減少でした。

利益剰余金は、四半期純利益による増加18,963百万円、配当金支払いによる減少7,959百万円により、合計では10,993百万円増加しました。自己株式は344万株を取得し5,746百万円増加しました。株主資本合計は5,247百万円の増加でした。

評価・換算差額等は、その他有価証券評価差額金は3,618百万円減少し、為替換算調整勘定は3,950百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2008年度の業績予想につきましては、年度当初に公表しました数値を10月27日の第2四半期決算発表の際に修正致しましたが、その後に生じた世界的な景気後退による大幅な需要減と急速な円高の進行により、第3四半期の業績は修正時点の想定を下回って推移しました。第4四半期につきましても、原油価格の沈静化は見られますものの、当社グループの関連業界における大幅な需要の落ち込みは継続すると予想されます。

今回、2008年度通期の業績見通を、連結の売上高3,600億円（前期比11.5%減）、営業利益350億円（同41.7%減）、経常利益350億円（同37.6%減）、当期純利益190億円（同48.6%減）に修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用しております。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、引き続き賃貸借取引に係る会計処理を行っております。

④連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,798	16,537
受取手形及び売掛金(純額)	89,839	86,954
有価証券	21,255	46,835
たな卸資産	80,933	72,317
その他	39,049	36,005
流動資産合計	252,876	258,649
固定資産		
有形固定資産	99,981	105,531
無形固定資産	6,052	6,466
投資その他の資産	47,382	46,302
固定資産合計	153,416	158,300
資産合計	406,293	416,950
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,246	83,445
短期借入金	15,270	16,808
その他	27,518	37,462
流動負債合計	129,035	137,716
固定負債		
退職給付引当金	14,835	14,679
その他の引当金	3,293	3,305
その他	3,219	3,587
固定負債合計	21,347	21,572
負債合計	150,383	159,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	223,497	212,503
自己株式	△19,369	△13,623
株主資本合計	252,627	247,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,188	4,806
為替換算調整勘定	△3,597	352
評価・換算差額等合計	△2,409	5,159
新株予約権	279	193
少数株主持分	5,412	4,929
純資産合計	255,910	257,662
負債純資産合計	406,293	416,950

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	294,032
売上原価	214,457
売上総利益	79,575
販売費及び一般管理費	45,355
営業利益	34,219
営業外収益	
持分法による投資利益	1,083
その他	2,370
営業外収益合計	3,454
営業外費用	
為替差損	1,410
減価償却費	794
その他	1,465
営業外費用合計	3,670
経常利益	34,004
特別利益	
固定資産売却益	398
特別利益合計	398
特別損失	
投資有価証券評価損	2,778
たな卸資産評価損	1,685
その他	198
特別損失合計	4,663
税金等調整前四半期純利益	29,739
法人税等	9,947
少数株主利益	829
四半期純利益	18,963

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	29,739
減価償却費	17,968
受取利息及び受取配当金	△1,031
支払利息	214
持分法による投資損益(△は益)	△1,083
売上債権の増減額(△は増加)	△5,677
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,673
仕入債務の増減額(△は減少)	7,499
その他	1,345
小計	38,301
利息及び配当金の受取額	2,268
利息の支払額	△212
法人税等の支払額	△15,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△15,836
固定資産の売却による収入	407
投資有価証券の取得による支出	△1,612
投資有価証券の償還による収入	2,000
関係会社株式の取得による支出	△300
貸付けによる支出	△2,998
貸付金の回収による収入	1,676
その他	△5,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△115
長期借入金の返済による支出	△1,409
自己株式の取得による支出	△5,764
配当金の支払額	△7,973
少数株主への配当金の支払額	△161
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,414
現金及び現金同等物の期首残高	61,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,309

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	エラストマー事業 (百万円)	エマルジョン事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	100,897	19,625	52,526	120,983	294,032	—	294,032
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	457	3,743	—	10,732	14,933	(14,933)	—
計	101,354	23,368	52,526	131,715	308,965	(14,933)	294,032
営業利益	8,666	809	2,199	22,545	34,219	—	34,219

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業目的において区分された項目別とし、その事業規模も勘案して、エラストマー事業・エマルジョン事業・合成樹脂事業及び多角化事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
エラストマー事業	スチレン・ブタジエンゴム、ポリブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム等の合成ゴム及び精練加工品、熱可塑性エラストマー及び加工品
エマルジョン事業	スチレン・ブタジエンラテックス、アクリルエマルジョン等のエマルジョン製品及び加工品
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂等の合成樹脂
多角化事業	半導体製造用材料(フォトレジスト、CMP材料、実装材料、反射防止膜等)、フラットパネル・ディスプレイ用材料(カラー液晶ディスプレイ用材料、プラズマ・ディスプレイ用材料等)、光学材料(光ファイバー用コーティング材料、機能性コーティング材料、反射防止膜材料等)、耐熱透明樹脂及び機能性フィルム等)、機能化学材料(高機能コーティング材料、多機能高性能分散剤、工業用粒子、メディカル関連粒子等)、化成品及び化学品類、回路検査治具等機器、包装資材、その他

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	223,174	56,431	14,426	294,032	—	294,032
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	47,416	44	4,020	51,481	(51,481)	—
計	270,590	56,476	18,447	345,514	(51,481)	294,032
営業利益	29,150	3,896	1,172	34,219	—	34,219

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ
- (2) その他の地域……………米国、欧州

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	96,784	10,041	10,705	117,532
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	294,032
III 連結売上高に占める海 外売上高の割合（%）	32.9	3.4	3.6	40.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ、シンガポール
- (2) 北米……………米国
- (3) その他の地域…欧州他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

(1) 四半期連結累計損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期連結 累計期間	当四半期 平成21年3月期 第3四半期連結 累計期間	増 減		前期 平成20年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	305,223	294,032	△11,190	△3.7%	406,967
売上原価	212,906	214,457	1,550	0.7%	284,430
売上総利益	92,316	79,575	△12,740	△13.8%	122,536
販売費及び一般管理費	45,773	45,355	△417	△0.9%	62,526
営業利益	46,542	34,219	△12,322	△26.5%	60,010
営業外収益	3,171	3,454	282	8.9%	4,233
営業外費用	4,461	3,670	△790	△17.7%	8,180
経常利益	45,253	34,004	△11,249	△24.9%	56,063
特別利益	377	398	21	5.7%	377
固定資産売却益	—	398	398	—	—
投資有価証券売却益	377	—	△377	—	377
特別損失	968	4,663	3,695	381.5%	1,573
投資有価証券評価損	—	2,778	2,778	—	—
たな卸資産評価損	—	1,685	1,685	—	—
その他の特別損失	—	198	198	—	—
固定資産廃棄損	968	—	△968	—	1,573
税金等調整前四半期(当期) 純利益	44,662	29,739	△14,922	△33.4%	54,866
法人税等	15,813	9,947	△5,866	△37.1%	17,335
少数株主利益	437	829	392	89.8%	536
四半期(当期)純利益	28,411	18,963	△9,448	△33.3%	36,994

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期連結 累計期間	当四半期 平成21年3月期 第3四半期連結 累計期間	前期 平成20年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	44,662	29,739	54,866
減価償却費	15,078	17,968	21,179
売上債権の増減額(△は増加)	△10,919	△5,677	5,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,907	△10,673	△5,692
仕入債務の増減額(△は減少)	8,402	7,499	△2,352
その他	△2,527	△555	△1,183
小 計	48,788	38,301	72,197
法人税等の支払額	△20,309	△15,898	△20,583
その他	1,574	2,056	2,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,054	24,459	53,890
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	△17,375	△15,836	△27,122
その他	△2,330	△6,167	△5,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,706	△22,003	△32,239
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の純増減額(△は減少)	△593	△1,524	△697
配当金の支払額	△7,051	△7,973	△7,033
自己株式の取得による支出	△5,326	△5,764	△5,328
その他	△341	△164	△341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,313	△15,426	△13,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△2,444	△820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,064	△15,414	7,429
現金及び現金同等物の期首残高	53,655	61,724	53,655
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の 増加額	639	—	639
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	51,230	46,309	61,724

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

(単位:百万円)

	平成20年3月期第3四半期連結 累計期間		平成21年3月期第3四半期連結 累計期間		平成20年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エラストマー事業	96,213	8,558	100,897	8,666	128,952	11,168
エマルジョン事業	19,842	1,261	19,625	809	26,993	1,542
合成樹脂事業	51,130	2,586	52,526	2,199	68,844	3,012
多角化事業	138,036	34,135	120,983	22,545	182,176	44,287
連結	305,223	46,542	294,032	34,219	406,967	60,010

[所在地別売上高]

(単位:百万円)

	平成20年3月期第3四半期連結 累計期間		平成21年3月期第3四半期連結 累計期間		平成20年3月期	
	売上高		売上高		売上高	
日本	233,200		223,174		308,757	
アジア	55,487		56,431		74,552	
その他	16,535		14,426		23,657	
連結売上高	305,223		294,032		406,967	

[海外売上高]

(単位:百万円、%)

	平成20年3月期第3四半期連結 累計期間		平成21年3月期第3四半期連結 累計期間		平成20年3月期	
	売上高	割合	売上高	割合	売上高	割合
アジア	102,355	33.5	96,784	32.9	133,837	32.9
北米	9,989	3.3	10,041	3.4	15,863	3.9
その他	12,827	4.2	10,705	3.6	16,689	4.1
海外計	125,172	41.0	117,532	40.0	166,390	40.9
連結売上高	305,223	100.0	294,032	100.0	406,967	100.0